



Philippines Camp 2018 spring



**PRESENTED BY
FIWCKYUSHU × GIMARCO
GIMARCO, TABANGO, LEYTE
2018.2.27-2018.3.27**

はじめに

村人と“一緒に” キャンパーと“一緒に”

みんなと“一緒に”

そんな想いで決めたキャンプテーマ

“with”

村人の傍で寄り添う存在と一緒に笑い一緒に汚れ

一緒にがんばる

FIWC の活動は

そんな近くでの関わりを

可能にする

“with”は心の線見えないけどキャンパーの心には

いつもあった

“with”の想い

ヒマルコ村という未知の地で新たな一步を踏み出した 20 名人との出

会い 1 ヶ月の生活何を感じ

何を思ったのか

この 1 ヶ月の軌跡を今から辿っていこう

フィリピンの世界へようこそ

2017 年度フィリピンキャンプリーダー



重要人物紹介

ロクロクさん

1996年からFIWC 関東のキャンプに参加していてFIWC九州発足後は九州のお世話をしてくださっている現地エンジニア。プロジェクトのみでなく生活面に関してキャンプ中私たちと一緒に生活して支えてくださっています。私たちを我が子のように想ってくれるお父さんの存在です。



ボボン

我らのスキルワーカー、スーパーマンボボンです。今ワークでは朝早く私達が寝ている時間からワークを進めてくれた日もありました。ワークが無事に終わったのもボボンのおかげといっても過言ではありません。いつも陽気で私たちとワークを楽しんでくれるカッコいいおじちゃんです。

メイヤー

私たちがワークを行ったタバngo市の市長さんです。今キャンプも忙しい中フェアウェルパーティーに出席してくださいました。日本人のことが好きで親しみやすい市長さんです。





カピタン（村長）

この女性は今回のワーク地であるヒマルコの村長さんです。今キャンプではヘルメットをかぶって私たちのワークを手伝ってくれたりもしました。村の教育や政治について語るなど熱いところがあるカピタンです。

（モルじい）

この黒く焼けたおじいちゃんのカガワット（村役人）のタタイコです。私たちや資材を自前の軽トラでワーク地まで運んでくれたり彼の家でリーゴをさせていただいたりなど今キャンプで日本人はたくさんのサポートをしていただきました。

タタイコ



balanガイタノド

村の警備員の人たちで、キャンプ中私達が滞在している balanガイホルの警備を夜通ししてくださいました。

ナショナルポリス

村に駐在し私達の安全を守ってくださる警察です。彼らがいたから私達も安全にキャンプを行うことができました。見た目は怖い人達ですが気さくに話しかけてくれる陽気で優しい人達です。



キャンプスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
	27 出国 移動日	28 入国→ ヒマルコ着 移動日	1 Work Meeting	2 Work	3 Work	4 GAM
5 Work	6 Work	7 Work	8 Work	9 Work FI 関東訪問	10 Japanese Festival	11 ピクニック
12 Work	13 Work 後発組出国	14 Work 後発組着	15 Work	16 Work	17 星を見る会	18 休み
19 Work Home Stay	20 Work	21 Work	22 Beach Party	23 Work	24 Work Home Stay	25 Farewell Party
26 出国 移動日	27 帰国 移動日					



生活状況 「衣」

常夏の国フィリピンでは、基本的には半袖・半ズボン・サンダルのようなラフな格好をしている人を多く見かけます。しかし、朝方はかなり冷え込むので一枚上に羽織るものがあると便利であった。また、紫外線が非常に強い為、日中の比較的暑い時間帯であっても、パーカーなどの上着を着ている人もいた。今回のキャンプでは、ワーク中キャンパーは安全面の問題からクロックスと靴下を着用した。



「食」

フィリピン料理に関しては、あまり日本食と変わらないように感じた。主食は米で、出てくる料理も日本人にとって全く違和感のない味付けだった。個人的に好きなのは、一日に一回は出てくるパンシットですね。ちなみにパンシットはビーフンみたいな料理の事です。また、飲み物に関しては基本的にマーケットで購入したミネラルウォーターを飲んでいました。また、村のサリサリ（売店）でジュースを買ったりすることもできます。お酒は エンペラドルやサンミゲル、ココナッツのワインであるトウバが飲まれていた。そして、キャンパーみんな大好きなバナナQ。これは個人的な感想としては、大学芋似た味でとてもおいしかったです。



「住」

・滞在

今回私たちはランガイホールという村の施設に宿泊させていただきました。タイル張りの床にゴザを敷いて、みんなで雑魚寝しました。初めはかなり苦痛でしたが、日に日に慣れていきました。ワーク以外の時間はランガイホール周辺で過ごす時間が長かったように思います。また、今回の村のルールで門限は 22 時でした。



・トイレ ランガイホールのトイレは便座がついていたが、一般的な家庭では便座無し便器のみというのもあった。また、流す際は、便器の横に置いてある大きなバケツから水をすくって手動で流すようになっていた。



・洗濯(ラバ)

キャンパーの服を、KP が決めたシフトに従って交代制で行う。洗濯機では落ちないような汚れでも手洗いならしっかり落とすことができる。村人たちのような手際のいいラバを身に付けたい。



・お風呂(リーゴ)

お風呂といってもお湯を湯船に張って浸かるのではなく、バケツに貯めた水をすくって水浴びをします。日が出ているうちにするととても気持ちいいのですが、日没後のリーゴは地獄そのものです…。

係報告

☆ 保健係

○仕事内容保健バックリストの見直し・準備ワーク時

の水分補給キャンパーの体調の把握・応急処置

保健バックの携帯・管理

○保健バックリスト

保健バック	名称	類別	個数
大	冷えピタ		4×3
	ガーゼ		2m
	レスキューシート		1
	パブロン	抗ヒスタミン剤	30
	バファリン	解熱鎮痛剤	36
	ガードコーワ	制酸薬	200
	エクトール	下痢薬	48
	オイラックス	皮膚薬	1
	綿棒		360
	体温計		1
	爪切り		1
	マキロン		1
	飲料粉末		5×5
	ムヒ		1
小	キャベジン	胃腸薬	10
	冷えピタ		10×3
	ポケットティッシュ		10×3
	ムヒ		1

	救急バン		
	マキロン		1
	包帯		5m
	包帯		4m
	サニタリー袋		多
	塩分チャージ		
	虫除けスプレー		

○反省

- ・保健バックの整理整頓ができておらず、中身が紛失することがあった。また、残量の確認ができておらず、風邪薬や絆創膏が不足した。保健係内で当番を決め、保健バックの管理を定期的に行うべきだった。
- ・ホームステイ中に発熱したキャンパーがおり、BRGY ホールで一晩泊まることとしたが、その場合の付添人の人数など対応に困った。ホームステイ中に病人がある場合の対応を予めマニュアル化するべきだった。
- ・保健バックに一つ体温計を用意していたが、今キャンプは発熱者、体調不良者が多かったこともあり、一つだけでは紛失した場合に熱が測れなかった。今後は保健係は全員体温計を所持していくことを推奨する。

☆ ホームステイ

3/18-3/25 の一週間、日本人 2 名ずつで 10 軒の村人の家にホームステイしました。※春のキャンプのみです。

☆Gimarco proper 地区



【バナQおばさん家】サトカツ よっつー	【ティンティン家】たくや みき
【イザベル家】ぼん はるか	【イザベル家の隣】こうしろう みゆ
【モルじい家】りお さき	【遠い家】大ちゃん ちゃっぴー

☆Hamorawon 地区



【豪邸】しほ あかり	【リクリック家】ちか げっしー
【オプリン家】かいせい ゆうき	【オレンジの家】りこ まなか

☆ 会計 (みき、だいちゃん)

収入 (P)		繰越金	232
		生活費	141462
		合計	141694

支出 (P)	移動雑費	手荷物代	1040
		入港代	500
		チップ	40
		SM 荷物預け代	100
	移動費	スーパーキャット	25250
		バン	6700

		トラック	1000
		ガソリン代	5600
		タクシー	475
		その他	50
	生活費	食費	20692
		水	2685
		生活品費	3762
	人件費	感謝費	16800
		ナナイ	1000
	イベント費	ビーチパーティー	10000
		Japanese Festival	1488
		Farewell Party	15660
	その他	シム	2200
		ロード	477
		後発返金	2400
		ポストカード	700
		キャッシュバック	8000
		合計	126619

誤差 (+) (P)	31
残額 (P)	15106

キャンパー負担費

キャンプ参加費	2000
生活費	15000
個人費	10000
予備費	10000
渡航費	50000
保険料	15000
予防接種（個人差有り）	10000
合計（¥）	112000

（仕事内容）

- ・日本、現地での換金
- ・キャンパーから生活費の徴収、管理
- ・小さい額の札、小銭の用意（額の大きい札は村では使えない）
- ・毎日の収支の記帳、確認
- ・領収書を必ずもらうこと

キャンプ会計の不十分さを指摘されたため、今回から領収書をもらうことになった。現地では、発行してもらえない場合もあるので、日本で領収書や出金伝票を買って持って行った。しかし、途中で領収書が足りなくなってしまい、後発組に買ってきてもらうということがあったため、次回から多めに買っていきべきである。また、領収書がなくて急遽建て替えがあった場合のために、会計係以外のキャンパーにも領収書を持たせておくべきだった。

帰りの空港税は、これまで個人費から支払っていたが、移動費に含まれるため今回から生活費から出すことになった。キャンプ途中でこの意見がでたため、航空税を全額生活費から出すことはできなかった。これから生活費の予算にいれていこうと思う。

マーケットに行って食材を買うとき、前年の相場を知れるため、前年度のノートを持っていきべきだった。

いくつか反省点もあるが、お金が足りなくなることも、大きな誤差が出ることもなく無事に終えることができたので良かった。

☆ イベント



ジャパフェスって？ イベント係って？

毎年、キャンプ地でたくさんの子供や大人を集めてイベントを行います（通称：Japanese Festival、ジャパフェス）。日本語を教えたり、日本食を振る舞ったり、逆にフィリピンのゲームを教えてもらったり、、、。

イベント係は、その Japanese Festival の企画立案、準備、司会進行を行います。



みんなで歌って、踊って、走って、食べて。
今年のジャパフェスもたくさんの 笑顔 がありました。



そんなジャパフェスの様子をいっぱいの写真で紹介します。
これできっとみんなフィリピンに行きたくなるはず。
お楽しみください。



イベント概要

- ▶ 日時：2018年3月10日（土）14：00～（昼の部）19：00～（夜の部）
- ▶ 場所：Gimarco Elementary School

タイムスケジュール

1. オープニングアクト 今年のイベントはちかとげっしーの一発ギャグからスタート！ 非常に場が盛り上がりましたね。うん。ありがとう。
どんな一発ギャグをしたかは本人たちに聞いてみよう！

※写真は練習中の二人



2. 日本語教室

「おはよう」、「こんにちは」の挨拶や、「ご主人様」、「カッコいい」などの子供たちに言われたい言葉を教えた。子供たちの覚えるスピードはすごい！

イベント終了後、「ご主人様」って言ってくれる子供がいた。「かいかいご主人様」だって。可愛すぎかよ。幸せな気持ちだった。

3. サックレース子ども大好きサックレース！みんな積極的に参加してくれたよ！子どもだけでなく、スキルワーカーのボボンも参加！？

< 第1試合 >

子どもたちを 10 人×4 チームに分けて勝負！



結果は、、、??

こうしろうチーム の優勝！！



< 第 2 試合 >

Japanese vs Filipino !

結果は、、、言うまでもないですね。日本人弱すぎわろた。

フィリピンキャンプに行く人はサックレースの練習をしてからキャンプに参加しましょう。

ここでは、日本人の無様な写真たちを。(左からぼん、げっしー、かいせい)



4. 歌

スピッツの“チェリー”を歌いました！

歌詞カードを配って合唱。下見キャンプでも教えたからみんな覚えてました。サビは日本人、フィリピン人みんなで大合唱！
みんなで歌ってる動画が見たかったら、キャンパーに言ってね！



5. ストップ・ダンシングゲーム ディスコ大好き、ダンス大好きなフィリピンのゲーム。

日本人もノリノリで踊りました。

最後まで残っただいちゃん、あかり、りおはすごい。3人に踊ってって無茶ぶりしたら踊ってくれるかもよ。



6. 選抜総選挙・ダンス 今年のジャパフェスのメインイベント！ たくさんの村人に投票してもらいました。

「センター獲得したのは、誰だ！」 日本で圧倒的人気を勝ち取った綺麗系お姉さん“ちやっぴー”か。

元気系少女“だいちゃん”か。snow で盛りテク“たくや”か。



第1位、、、最終獲得票数 35 票、、、サトカツ！

ちなみに 2 位はゆうき、3 位はよっつー！

総選挙で見事にセンターを勝ち取ったサトカツ。

サトカツをセンターに、最後はみんなで AKB48 の“恋するフォーチュンクッキー”を踊りました。

この日のために毎朝 7：00 に起きてみんなで練習してきました。



8. 夜の部（日本食） 今キャンプでは、初の試み、ジャパフェス夜の部を開催！

夜の部では焼きそばをつくって、村人たちに振る舞いました。外出できる時間ギリギリまでご飯を食べたり、語り合ったり、。

焼きそばは、好き嫌いが分かれるようでした、、、。

ふ

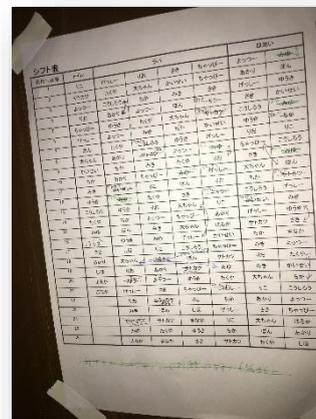
☆ KP（Kitchen Police）

主な仕事

- ① トイレ掃除、洗濯、皿洗いのシフト表作成
- ② 生活用品、ミネラルウォーターの管理
- ③ いただきます、ごちそうさまの号令

① シフト表の作成トイレ掃除→1人 洗濯→4人 皿洗い→2人 日本にいる間にシフトを作り、みんな回数が均等になるようにした。

〈反省点〉シフトの割り振りが被ってたりしたのでしっかり確認しておくこと毎日スムーズに仕事を回せたと思う。また今後参考までにワークリーダー、サブワークリーダーはワーク日以外に洗濯を入れるとワークがスムーズになるのではないと思う。



シフト表	日	トイレ掃除	洗濯	皿洗い	日本にいる
1	10/1	山本	山本	山本	山本
2	10/2	山本	山本	山本	山本
3	10/3	山本	山本	山本	山本
4	10/4	山本	山本	山本	山本
5	10/5	山本	山本	山本	山本
6	10/6	山本	山本	山本	山本
7	10/7	山本	山本	山本	山本
8	10/8	山本	山本	山本	山本
9	10/9	山本	山本	山本	山本
10	10/10	山本	山本	山本	山本
11	10/11	山本	山本	山本	山本
12	10/12	山本	山本	山本	山本
13	10/13	山本	山本	山本	山本
14	10/14	山本	山本	山本	山本
15	10/15	山本	山本	山本	山本
16	10/16	山本	山本	山本	山本
17	10/17	山本	山本	山本	山本
18	10/18	山本	山本	山本	山本
19	10/19	山本	山本	山本	山本
20	10/20	山本	山本	山本	山本
21	10/21	山本	山本	山本	山本
22	10/22	山本	山本	山本	山本
23	10/23	山本	山本	山本	山本
24	10/24	山本	山本	山本	山本
25	10/25	山本	山本	山本	山本
26	10/26	山本	山本	山本	山本
27	10/27	山本	山本	山本	山本
28	10/28	山本	山本	山本	山本
29	10/29	山本	山本	山本	山本
30	10/30	山本	山本	山本	山本
31	10/31	山本	山本	山本	山本

② 生活用品、ミネラルウォーターの管理日本で購入したもの(トイレ掃除の道具、サニタリー袋、洗濯袋)の管理を行った。みんなが寝るときに使用するゴザやハンガー、洗剤などは村の公民館(バランガイホール)で保管してもらっている。

〈反省点〉洗濯する前とした後に入れるような袋の数が把握できておらず後発組に買い足して買ってきてもらったが結果余ってしまった。

キャンプ終盤、トイレトーパーとサニタリー袋が足りなくなっていた。

Feb.27~Mar.27

in
BRGY
GIMARCO



ワーク報告

➤ ワーク概要

場所：フィリピン共和国レイテ島タバング市ヒマルコ村内容：水道設備の改善期間：2月27日～3月27日
予算：189257ペソ（およそ40万円）



➤ ワークの目的と背景

今回ワークを行った BRGY GIMARCO は、水道設備に大きな問題を抱えている。村にある水道設備では村人は夜間の限られた時間にしか水を手にいれることができない。この問題を解決するために歴代の村長やカラヒと呼ばれるプロジェクトチームは、幾度となく水道設備のプロジェクトを行ってきた。しかし政治上の対立などの影響を受け、他政党の行ったプロジェクトには適切な管理が行われてこなかった。そのために未だにこの村の水道設備は大きな問題を抱えている。

今回、自分たちがこの村に参入するメリットとしては、政党とは無縁という立場をとる自分たちが村の各地の水道設備を改善し、村全体が使える1つの水道設備として整備し直すことで政党に関係なく全ての村人が使用、管理できるといったことが挙げられる。そのため今回、自分たちは水道設備を完成させるだけでなくその後の村人が自分たちの手で水道設備を管理し、改善していく。つまりは村人が自立していくためのワークを目指し、プロジェクトを行った。

➤ ワーク内容

実際のワーク内容は下記の3つである。

Stage 1：プロパーと呼ばれる中心部に新たな貯水タンクを建設する。

Stage 2：新たな水源を整備し十分な取水量を確保する。

Stage 3：水源から村の端まで続くすべての接続を修理し整備し直す。

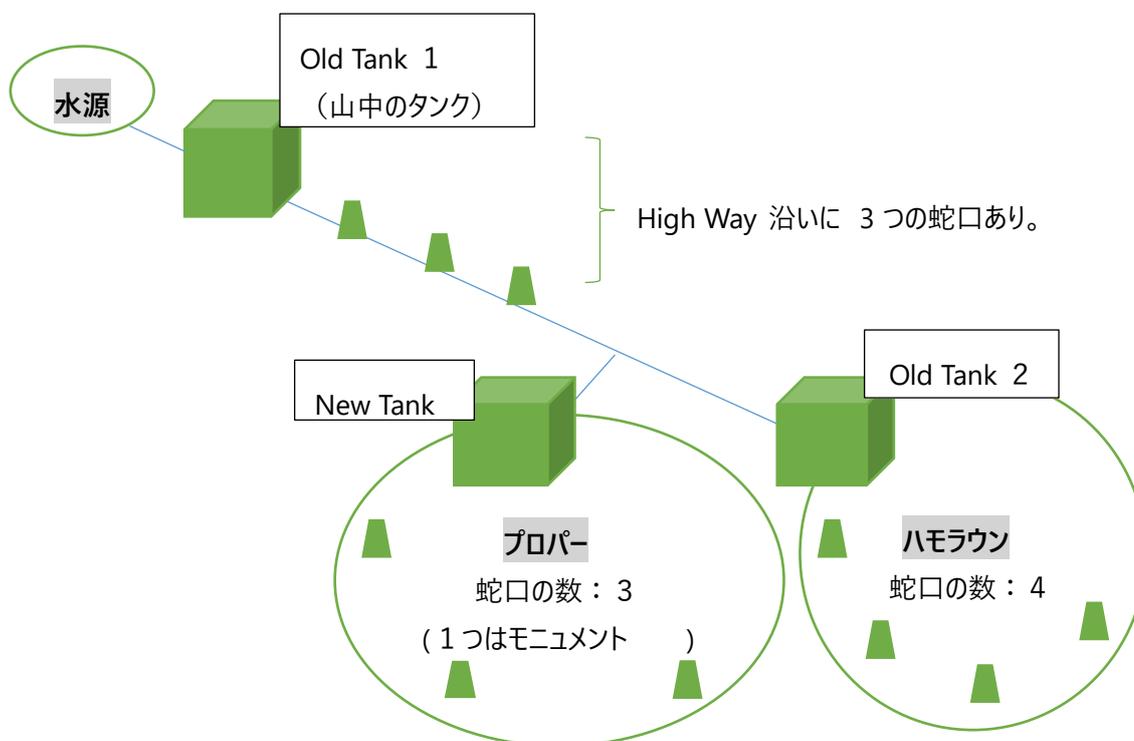
その他にもモニメントの作成や蛇口の整備など多くのことを行った。

詳細は以下に記す。

➤ ワークスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
	27	28	1	2	3	4
	出国		資材搬入	タンクの 土台作り	→	GAM
5	6	7	8	9	10	11
新タンク 建設	→		水源工事	→	Japanese Festival	
12	13	14	15	16	17	18
パイプの 交換 3インチ	パイプの 交換 2インチ	→	新タンク への接続	ハモラウン への接続		
19	20	21	22	23	24	25
	ハモラウン 蛇口の整備	→	Beach Party	モニュメン ト作成	→	リーク修繕 Fare well party
26	27					
	帰国					

➤ ワーク全体図



➤ ワーク行程の詳細

Stage 1 < New Tank の建設 > 3/2～3/9

村人全員が季節、時間に関係なく水を利用するためにはプロパーと呼ばれる村の中心部に水をストックしておく必要があった。そのためまずプロパーに 8 フィート四方の巨大なタンクを新設した。

1. タンクの土台づくり

私たちの Work はタンクの土台作りから始まった。タンクの建設予定地はなんと草木生い茂る急斜面。山の斜面を削って平面をつくるという途方もなく思える作業を多くのフィリピン人に助けて貰いながら無事終わることができた。きついながらも楽しいワークとなった。

斜面をひたすらに削る作業→



2. 床のセメント・側面のフォーム作り

土台となる平面が完成すると早速床部分の作成に取り掛かった。早くも、今キャンプ初ミックスメントである。

また、骨組みにはコの字型に曲げたスチルバーをタイワイヤー用いて固定し、強度を高めた。

その後骨組みの両サイドに木製のフォームを取り付けセメントを流し込む用意が整った。



3. 側面のミックスセメント

昨日作ったフォームにセメントを流し込む作業。強度の関係から時間を空けずに 40 袋ものセメントを一気に作り、流し込む必要があった。日本人はもちろん、大勢のバヤニハ、ミキサーも総動員して作業を行った。



4. 天井のミックスセメント、フォームの取り外し

木製のフォームは一時的なものであるため、天井を作ったのちに取り外した。

フォームを外すと一切のひび割れもないきれいなセメントを確認することができた。

その後タンク内を清掃し取水口や供給口など計 5 つの穴を開け New Tank が完成した。

Stage 2 < Water Source の改善 > 3/8~3/9

従来の水源だけでは村全体に水を供給するには水量が足りず、新たな水源から水を引く必要があった。そこで既存の水源の近くに水を集めるための小さなタンクを作り水量と水圧の増加を図った。

How to make

1. 水源の周辺を削り湧き水を貯める空間を作る
2. セメントを使い 1 の周囲を覆う
3. 上から雨水が入らないようにカバーをする



Stage 3 <パイプラインの修繕と各所への接続> 3/12～3/25

今回のワーク地である BRGY GIMARCO には過去の水道整備プロジェクトによる蛇口やパイプライン、タンクなどが多数存在した。そこで今回は使われなくなったそれらの設備を必要な部分は改良し包括的に整備し直すことで村全体に水を行き渡らせることができた。

2 インチから 3 インチパイプへの交換

水量を改善するため山中のタンクから繋がっていた 2 インチパイプを約 120 ㍍の区間、3 インチパイプと交換した。なお交換した 2 インチパイプは傷んでいなかったため再利用した。また 3 インチパイプの最後に開閉弁を設け今後のメンテナンスに利用できるよう工夫した。



1.5 インチから 2 インチパイプへの交換

次に、ハイウェイに沿って繋がっている 1.5 インチパイプをすべて 2 インチパイプに交換する作業を行った。これにより山中のタンクからプロパーに新設したタンクまでの区間が 3 インチと 2 インチパイプのみによって繋がれることとなり大幅な改善がなされた。

3つのタンクとの接続

今回は十分な貯水量を確保するために3つのタンクを利用することとなった。山中にあるOld Tank1、新設したプロパーのNew Tank、ハモラウンにあるOld Tank2の3つである。接続をしたところ水量の増加とパイプラインの改善の影響でNew TankとOld Tank2の2つからオーバーフローが確認できた。

※詳しい位置関係はワーク全体図を参照。

蛇口、違法接続箇所へのTap Standの設置

既存のパイプラインには村人が無断でパイプに穴を開け水を各家庭に引き込んでいる箇所がいくつもあった。この行為はパイプ内の水圧を下げパイプの端まで水が届かなくなる原因にもなっている。そこで村との協議の結果、今後一切パイプに穴を開けることを禁じ、既存の違法接続は撤去するのではなくWater Meterを用いた水道料金システムを導入することとなった。Water Meter導入のため現在違法接続がある14か所にTap Stand（右図）を設置した。またこれによって今後パイプに穴を開けることなく新たなコネクションを作ることが技術的には可能となった。



ハモラウン地区への接続

ハモラウンはヒマルコの最も端に位置する地区で従来の水道設備から水が全く手に入らず最も深刻な水問題を抱えていた地区である。今回はハモラウンにあった Old Tank 2 を修繕し貯水タンクとして機能させることでハモラウン地区にある 4 つの蛇口を利用することができるようになった。



各地のリークの修繕

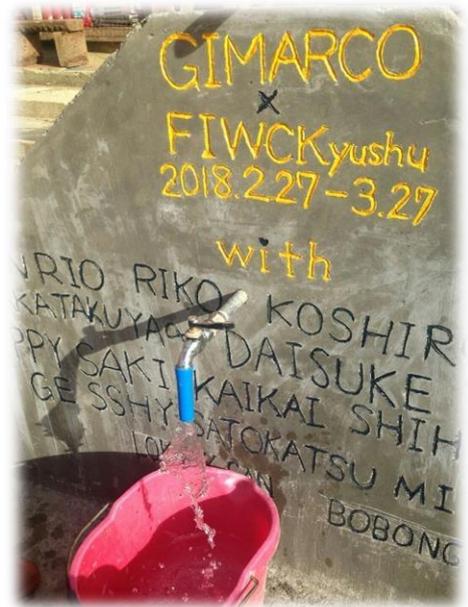
各地のパイプは老朽化が進んでいるものも多かったのでその都度、交換や修繕を行った。

触ったら水が噴出したので慌てる日本人の図。→



タガイタイ地区への水源の改良

タガイタイ地区の水道設備も整備する予定だったが今回はワークが押していたためタガイタイ地区に繋がる水源を修繕するだけに留めた。



モニメントの作成

プロジェクトの記念としてプロパーにモニメントを兼ねた新しい蛇口を作成し、New Tank の正面には日本とフィリピンの国旗をモチーフにしたイラストを描いた。



➤ ワーク総括

今回ワークを行った BRGY GIMARCO では長年の間、“水”の問題に苦しめられてきた。多くの政府やボランティア団体によるプロジェクトがこの問題を解決するために行われたが、その都度失敗してきた。そんな中自分たちのプロジェクトがほぼ 100% 成功し村に水をもたらしたことはワークリーダーとして誇りに思う。また、1 カ月というわずかな期間で今回のプロジェクトを完了することができたのはエンジニアであるロクロクさん、日本人キャンパー、村長はじめ村執行部の方々、その他協力してくれた村人など多くの人の“想い”があったからであり、プロジェクトに関わったすべての人にこの場を借りて感謝伝えたいと思う。

一方で、水道工事というその特性上キャンプの後半から非常に高度な作業の占める割合が多くなり、日本人キャンパーを積極的に巻き込むことが出来なかったことは大きな後悔が残る点である。ワークが大規模に、高度になるにつれて日本人にできることが少なくなっていくのはある種のジレンマのようなものであり、これからのワーク決定に際して考えていかなければならないことの 1 つであると感じた。



➤ ワーク会計

【収入】

項目	金額
Gakuvo Style Fund	₱ 142,500.00
学生サポートセンター	₱ 47,500.00
合計	₱ 190,000.00

【支出】

支払日	支払先	摘要	支払金額
2018/2/28	Brodeeth Marketing	GI TEE S40*2	₱ 3,257.28
		GI TUBE 50MM*6M	₱ 1,541.95
		GI TUBE 25MM*6M	₱ 660.20
		GI TEE S40*1	₱ 2,923.20

		GI PLUG S40*1/2	₱ 680.40
		GATE VALVE 2	₱ 2,208.00
		GATE VALVE 1	₱ 1,104.00
		GI UNION	₱ 1,176.48
		GI ELBOW 2*90	₱ 384.48
		GI ELBOW 2*45	₱ 482.40
		GI CAP	₱ 372.48
		BALL VALVE	₱ 1,194.24
		TEFLON	₱ 1,567.50
		PE PIPE 1/2*300M	₱ 10,444.20
		PE PIPE 3/4*150M	₱ 7,856.26
		CEMENT	₱ 16,125.00
		GI WIRE	₱ 590.00
		OPW 10MM	₱ 7,920.00
		OPW 4.5MM	₱ 530.00
		CWN #4	₱ 705.00
		CWN #2-1/2	₱ 500.00
		CWN #1-1/2	₱ 220.00
		SHOVELE	₱ 4,374.00
		PIPE WRENCH 18	₱ 957.60
		PIPE WRENCH 14	₱ 641.59
		SAHARA	₱ 1,813.50
		CROSSAW	₱ 367.42
		HACKSAW	₱ 584.14
		HACKSAW BLADE	₱ 140.25
		HAMMER	₱ 516.80
		CHROME FAUCT	₱ 631.64
	BOBONG	運送費	₱ 5,000.00
		木材切り出し費	₱ 2,400.00
	Makita HARDWARE	PICK MATTOCK	₱ 600.00
		GI END CAP	₱ 400.00
		GI NIPPLE 1*2	₱ 1,400.00

		GI NIPPLE 1/2*2	₪ 700.00
		GI BUSHING 1/2*1	₪ 1,575.00
		GI BUSHING 2*1	₪ 1,540.00
		CONSTORACTION PAIL	₪ 540.00
		No.3 BLUE PIPE	₪ 55,000.00
	RUBIUTA A DEU CSUZ	サンド グラベル	₪ 28,000.00
2018年3月1日	KODNEY C ESCASIWAS	運送費	₪ 5,000.00
2018年3月7日	Razel	SAHARA	₪ 500.00
		ガソリン代	₪ 500.00
		パンチ	₪ 235.00
2018年3月8日	Razel	ガソリン代	₪ 96.00
2018年3月13日	Razel	ガソリン代	₪ 108.00
2018年3月18日	Razel	ガソリン代	₪ 174.00
	NEHLBY ENTERPRISES	COUPLING	₪ 406.00
		BLUE ELBOW PLAIN	₪ 91.00
		BLUE ELBOW THREADED	₪ 55.00
		GI ELBOW	₪ 160.00
		GI NIPPLE	₪ 225.00
		FAUCET	₪ 567.00
		BLUE TEE	₪ 60.00
		BLUE Male Adopter	₪ 50.00
2018年3月19日	Razel	ガソリン代	₪ 100.00
2018年3月20日	Razel	ハバル代	₪ 200.00
2018年3月21日	Razel	コンクリートブロック	₪ 455.00
2018年3月22日	Razel	パンキ等	₪ 1,250.00
2018年3月25日	Rosali Salino	メンテナンス費	₪ 1,200.00
	Razel	セメント	₪ 500.00
		ガソリン代	₪ 200.00
	BOBONG	スキルワーカー感謝料	₪ 7,500.00
合計			₪ 189,257.01

次年度繰越金	円	743.00
--------	---	--------